

平成30年度 鹿児島県集計

年金セミナー アンケート集計結果



日本年金機構
Japan Pension Service

鹿児島北年金事務所

◆開催の詳細

学校区分

大学	3校	短期大学	4校
医療・看護系の大学・短大		専門学校	10校
医療・看護系の専門学校	15校	高等専門学校	1校
高校	23校	中学	1校
その他(支援学校、養護学校など)			

開催月

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5校		4校	8校	1校	4校	2校	1校	4校	3校	23校	2校	57校

講義時間

30分	40分	50分	60分	75分	90分
3校	10校	20校	14校	1校	9校

1. 年金のイメージ

○セミナー前

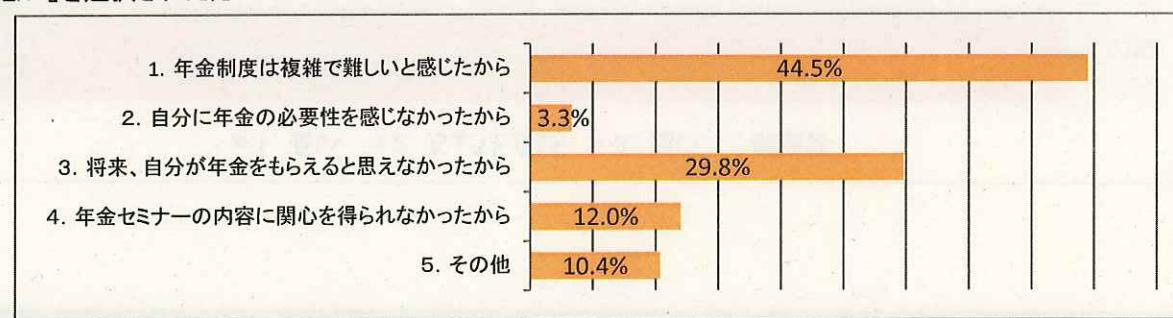
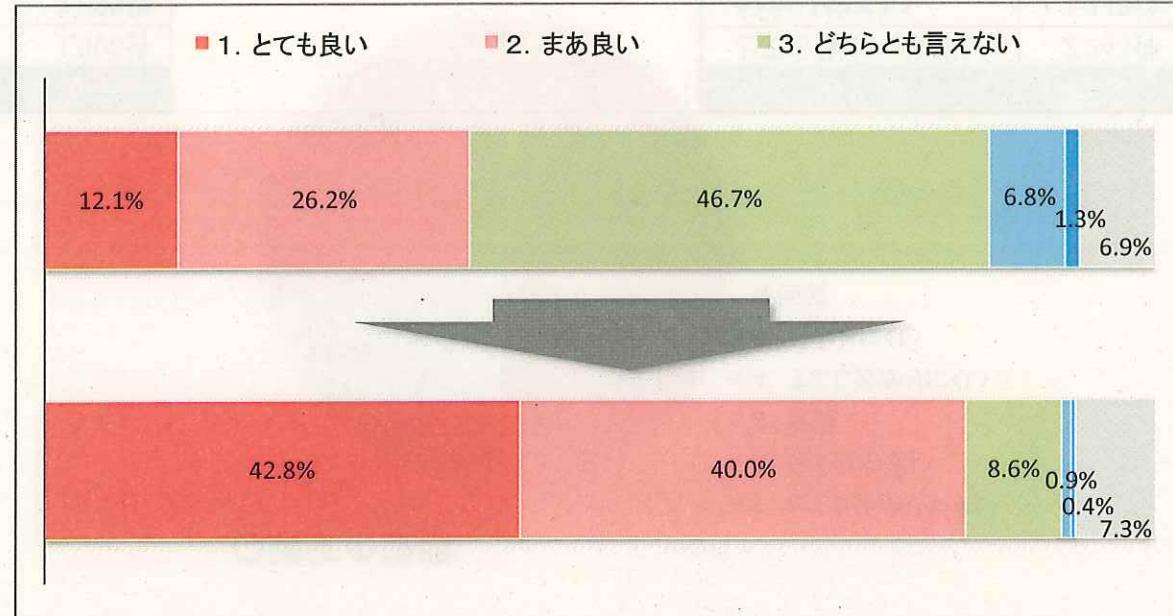
選択肢	回答
1. とても良い	619件
2. まあ良い	1,338件
3. どちらとも言えない	2,389件
4. あまり良くない	349件
5. 悪い	66件
無回答	352件

○セミナー後

選択肢	回答
1. とても良い	2,190件
2. まあ良い	2,046件
3. どちらとも言えない	441件
4. あまり良くない	44件
5. 悪い	20件
無回答	372件

※セミナー後も「3. どちらとも言えない」「4. あまり良くない」「5. 悪い」を選択された方

選択肢	回答
1. 年金制度は複雑で難しいと感じたから	215件
2. 自分に年金の必要性を感じなかつたから	16件
3. 将来、自分が年金をもらえると思えなかつたから	144件
4. 年金セミナーの内容に関心を得られなかつたから	58件
5. その他	50件

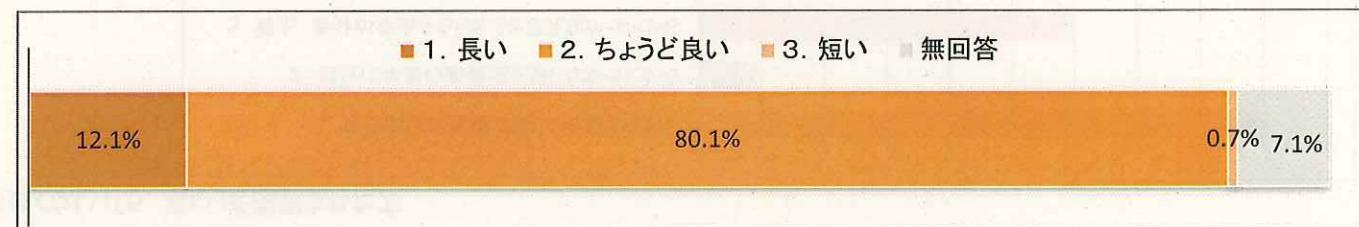


『まあ良い』以上の評価は、セミナー前の 38.3% から、セミナー後は 82.8% になりました。

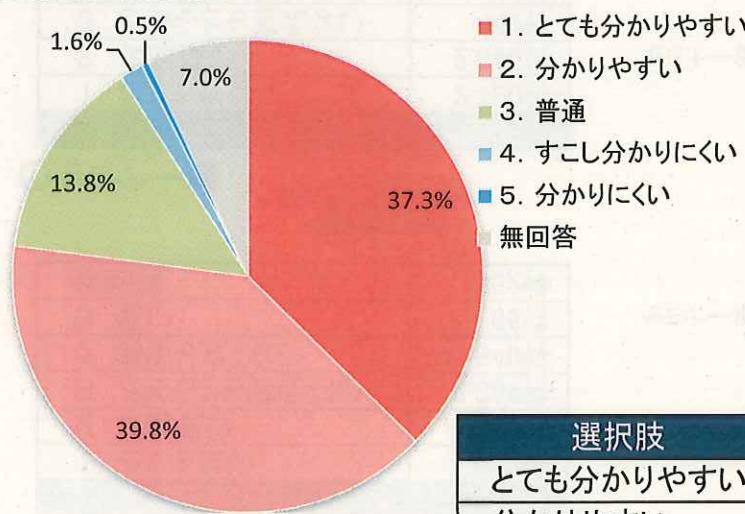
2. 講義について

○説明時間の長さ

選択肢	回答
長い	619件
ちょうど良い	4,095件
短い	38件
無回答	361件

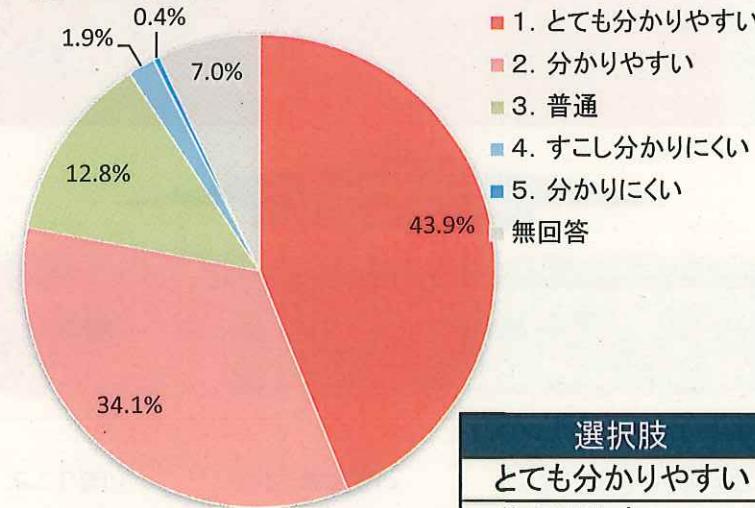


○資料の内容



選択肢	回答
とても分かりやすい	1,908件
分かりやすい	2,033件
普通	707件
少し分かりにくい	83件
分かりにくい	24件
無回答	358件

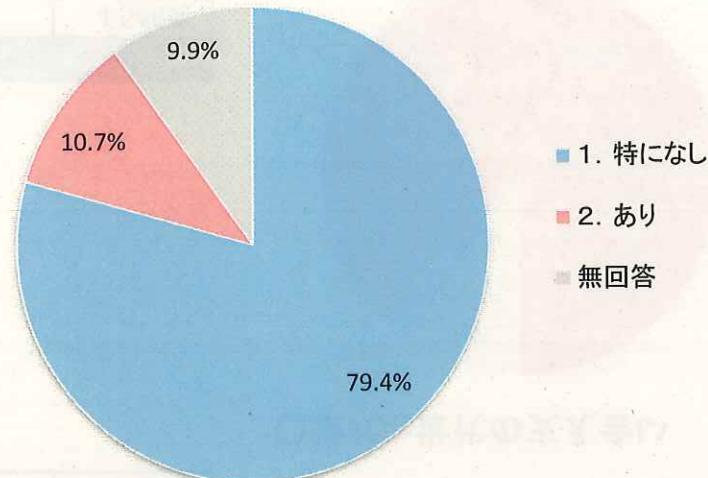
○講師の説明



選択肢	回答
とても分かりやすい	2,243件
分かりやすい	1,743件
普通	652件
少し分かりにくい	95件
分かりにくい	22件
無回答	358件

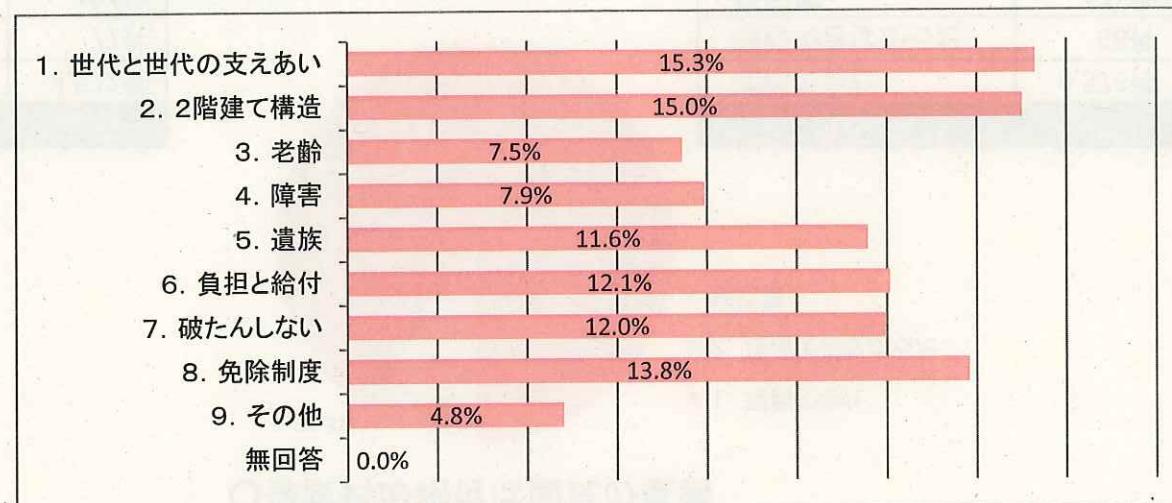
○詳しく説明してほしい内容の有無

選択肢	回答
特になし	4,060件
あり	547件
無回答	506件



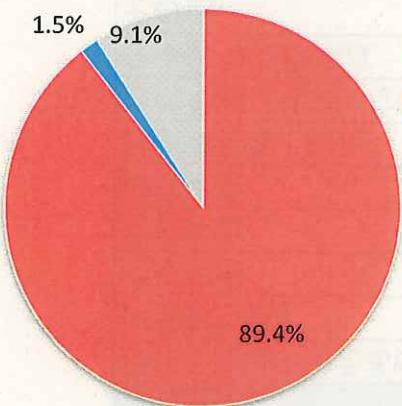
「あり」の場合(複数回答)

選択肢	回答
世代と世代の支えあい	156件
2階建て構造	153件
老齢年金	76件
障害年金	81件
遺族年金	118件
保険料負担と給付	123件
公的年金は破綻しない	122件
保険料の免除制度	141件
その他	49件
無回答	0件

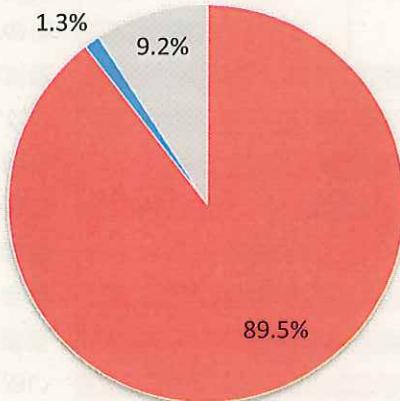


3. 年金制度の理解度

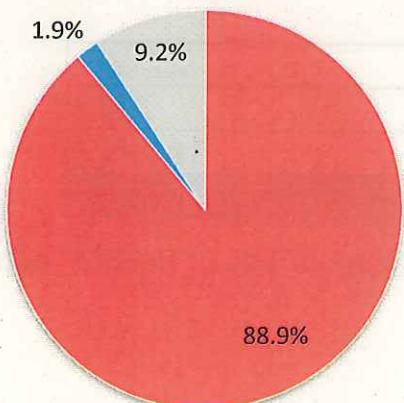
○20歳になつたら国民年金に加入



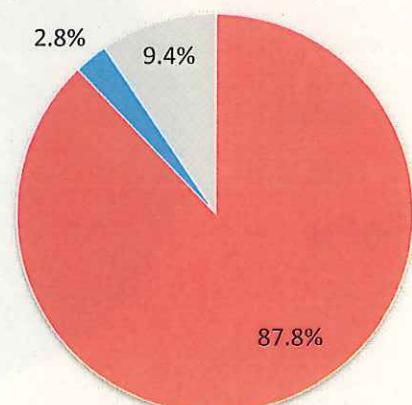
○保険料の納付は国民の義務



○3種類の給付制度



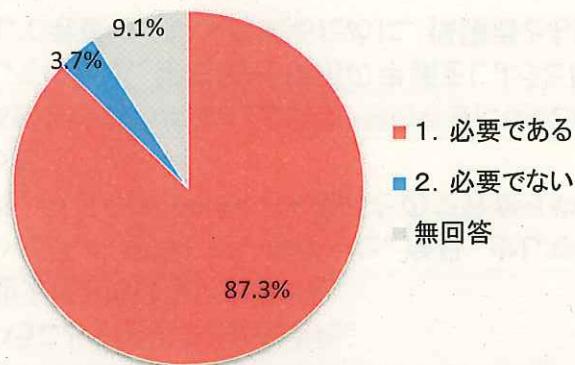
○世代と世代の支え合い



4. 年金制度の必要性

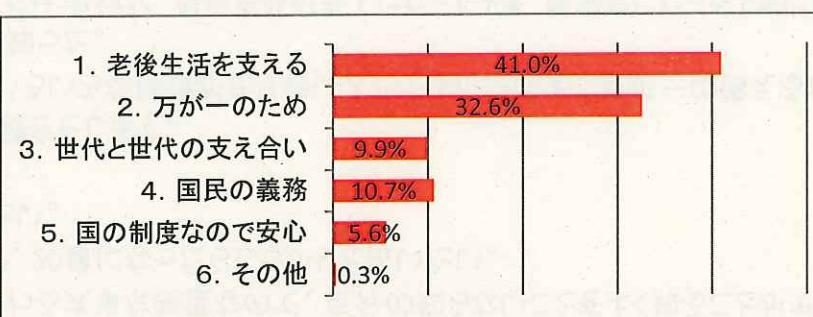
○年金制度は必要か

選択肢	回答
必要である	4,462件
必要ない	187件
無回答	464件



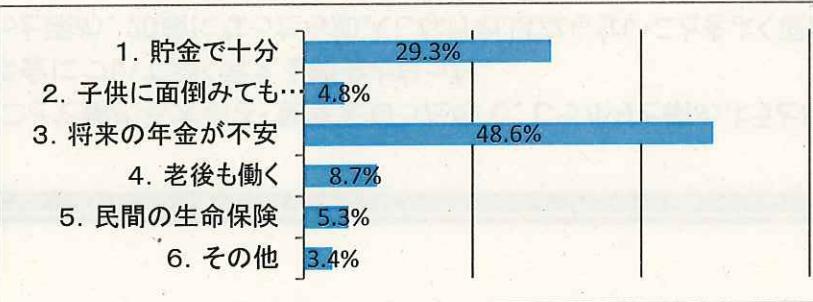
「必要」の場合(複数回答)

選択肢	回答
老後生活を支える	3,642件
万が一のため	2,897件
世代と世代の支え合い	884件
国民の義務	947件
国の制度なので安心	498件
その他	23件



「必要でない」の場合(複数回答)

選択肢	回答
貯金で十分	61件
子供に面倒みてもらう	10件
将来の年金が不安	101件
老後も働く	18件
民間の生命保険	11件
その他	7件



ご意見・ご感想

◎良い意見

- ・年金についてしっかりと学ぶことができ、仕組みを知ることで納める大切さ・意味を知ったので、しっかりと納めようと思った。
- ・年金は支え合いということを感じることができ、公的年金について深く考える機会となった。
- ・今回学んだこと、国民年金の加入について理解をもっと深め、20歳になつたら加入しなければならないことをよく理解できた。
- ・「年金」についてきちんと知っておくべきだと思った。
- ・年金についての考えが良いほうに変わった。
- ・年金のことはある程度知っていたが、あと1年したら関わる大事な制度なので、自分の知らないことをよく知ることができ、いい勉強になり理解が深まった。
- ・20歳になつたら納付する義務があることを知ったので、20歳になつたらしっかりと払いたい。
- ・必要な制度だと思うので、しっかりと向き合っていきたい。
- ・保険料を払わなければならない理由がよくわかった。
- ・年金の大切さを改めて考えさせられた、しっかりと手続きをします。
- ・年金は老後のためだけだと思っていたが、年金にはいろいろな種類があり若い人のためにもなる。万が一に備えるためのものでもあることが分かった。
- ・税金で年金の半分を知らないうちに払っていることを知った。
- ・国民年金に加入することが、今、年金を受け取っている人だけではなく、将来自分が老人になったとき、障害者になったときに自分を助けてくれることがよくわかった。
- ・自分の世代が将来年金を受取れるか不安であったが、年金が私たちの生活を支えてくれるものであることが分かり、その不安が解消された。
- ・公的年金制度は「世代と世代の支え合い」なんだということを学ぶことができた。
- ・20歳代で障害年金を受取っている人が意外と多く、他人ごとではないと思った。
- ・親から年金を納めないといけないという話を聞いていたがよく理解していなかった。今日、少しでも知ることができたのでよかったです。
- ・資料などに絵などが使われており見やすかった。また、いろんな例もたくさんあったので分かりやすかった。
- ・貯金と保険の違いについての説明が分かりやすかった。
- ・少子高齢化の時代に生まれた1人として、自分たちは今の高齢者がもらう年金よりも少ない額の年金になると思っていたが、国がきちんと調整してくれると知って安心した。
- ・学生納付特例の申請書が配布されたがそのままにしていたが、学生納付特例の申請をしようと思った。
- ・20歳から納めることを初めて知った。しっかり貯金もして老後について考えるために、保護者とも話すようにしたいと思った。
- ・桃太郎の動画の説明が分かりやすく、理解しやすかった。
- ・私は障害者手帳を持っているため、障害年金について知ることができてよかったです。

◎あまり良くない意見

- ・資料がない具体例をもう少し聞きたかった。
- ・年金制度は必要だと思うが、将来自分たちが受け取る立場になった時、確実に受け取れるのか不安。
- ・難しかった。
- ・払う人、払わない人がいるから不公平なのであるから、他の税を上げ、そこから強制的にとることで年金を納めることを増やし、65歳になったら全員がもらえるようにすればよいのではないか。
- ・どれだけ払っても、払わなくても、生活保護と変わらないのであれば払わない方がいいと思っている。
- ・払いたくないけど、払わないという選択ができないから、仕方なく払っているだけだ。
- ・両親は船員の年金なので何とか生活できているが、周りのサラリーマンだったお年寄りは、ほとんどがやっと生活できるだけの年金しかもらえていない。
- ・自分が65歳になるころには破たんしていると思う。破たんしないという根拠を聞かせてほしい。
- ・人口ピラミッドが昔と比べて逆三角形になってきているので、今の社会には不向きだと思う。
- ・国民生活の半分は借金なので、どんどん手厚くすると後が大変だと思うし、うまい話ばかりは非現実的に感じる。。
- ・人口を増やす政策をもっとしてほしい。
- ・セミナーの必要性を感じられないし、説明がわかりにくい。簡潔明瞭に、重要なことだけを伝えてほしい。
- ・年金機構と国税庁を合併して「歳入庁」を作り、税金といっしょに徴収すべきではないか。
- ・徴収漏れが多すぎる。また、無駄な人件費が多すぎる。
- ・桃太郎の動画は説得力に欠ける。また、桃太郎と年金を無理やりこじつけていたように思えた。
- ・年金だけで生活できるのか、少し不安になった。生命保険など安定した収入を確保したいと思った。
- ・これから私たちの下の世代の人口減少が見込まれることが、年金に影響するのか聞いたかった。
- ・将来受け取れる金額の具体例や、自分たちが支払うであろう保険料の具体例が提示されていれば、もっと分かりやすいと思った。
- ・保険料を支払わなかつた場合、年金を受取れないだけで法的措置はないのか気になりました。
- ・今後、少子高齢化が進むうえ、国の借金も多く国民の不安は大きいと思う。年金の収入と支出を、いくら国が調整するとしても限界があるのではないか。
- ・保険料を払った時の例などがあれば、もう少し分かりやすかったのではないかと思った。
- ・説明を受けることはとても貴重ありがとうございましたが、もう少し興味・関心を寄せられるような講和にしてほしかった。
- ・将来、働く人口は減り高齢者は増えていく時代で、国の負担は2分の1。そうすると働いて税を納める自分たちの負担が増すだけではないか。将来それに見合うだけの金額が支払われると思えなかった。
- ・桃太郎の動画は制度については分かりやすかったが、どれが何目線であるかを示してほしかった。自分たち目線のものがあればもっと分かりやすかったと思う。